

第53回公正入札調査会議（契約の適正化小グループ）

の議事概要について

標記の会議について、以下のとおり議事概要をお知らせします。

1. 開催日・場所

令和7年5月16日（金）
中央合同庁舎第3号館8階特別会議室

2. 出席委員

大橋 弘	東京大学大学院経済学研究科 教授
尾花 眞理子	弁護士
楠 茂樹	上智大学法科大学院・法学部教授
堀田 昌英	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授

【敬称略（五十音順）】

3. 議事

- （1）令和6年7月1日～令和6年12月31日に締結された随意契約及び一般競争契約の報告及び審議

国土交通本省等が令和6年7月から令和6年12月までに発注した物品・役務に係る契約の過程及び契約の内容（官庁営繕部所掌の工事の設計、工事監理及び工事に関する調査並びに航空局所掌のものを除く。）の報告を行い、計603件（随意契約347件、一般競争契約256件）のうち会議が抽出した10件に関して、入札及び契約の適正化に関する事項について審議を行った。

- （2）その他

・審査対象期間における契約状況の分析及び報告事項について説明した。

抽出案件一覧表（第53回（R7.5.16開催））

物品及び役務に係る随意契約							(期間 令和6年7月1日～令和6年12月31日)				
番号	発注部局名	契 約 件 名	区 分 (物品・役 務の別)	契約年月日	契約の相手方	契約金額 (税込み:円)	随意契約の種別				備 考
							①競争性のない 随意契約 ②企画競争 ③公募 ④その他	企画競争・公 募の場合の応 募者数	政府調達案件 は○を記載	公募実施後、 企画競争へ移 行したものは ○を記載	
6	観光庁	観光DX推進に向けたデジタルツールのデータ連携における標準仕様の策定及び活用に関する調査事業	役務	R6.6.28	全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会	49,999,888	②企画競争	1			
73	水管理・国土保全局	ダム運用高度化による流域治水能力向上と再生可能エネルギー増強の加速化プロジェクト(1. アンサンブル予測活用性向上のための予測技術の開発)	役務	R6.7.16	ダム運用高度化による流域治水能力向上と再生可能エネルギー増強の加速化プロジェクト(1) 日本気象協会、京都大学、電源開発共同研究体 代表者一般財団法人日本気象協会常務理事辻本浩史	46,000,000	③公募	1			
47	都市局	駅前広場等の交通結節点における自動運転技術の活用に向けた実証実験調査業務	役務	R6.7.9	駅前広場等の交通結節点における自動運転技術の活用に向けた実証実験調査業務日本交通計画協会、パシフィックコンサルティング共同提案体 代表者(公社)日本交通計画協会	39,644,000	②企画競争	1			
188	道路局	令和6年度 プレ調査を踏まえた「次期自動車起終点調査(OD調査)」実施に向けた検討業務	役務	R6.9.10	令和6年度 プレ調査を踏まえた「次期自動車起終点調査(OD調査)」実施に向けた検討業務 計量計画研究所・サーベイリサーチセンター共同提案体	59,994,000	②企画競争	1			
232	不動産・建設経済局	不動産IDのデータ作製及び提供等に関する検討業務	役務	R6.10.11	NTTインフラネット・NTTデータ共同提案体	64,900,000	②企画競争	1			

物品及び役務に係る一般競争契約										(期間 令和6年7月1日～令和6年12月31日)	
番号	発注部局名	契 約 件 名	区 分 (物品・役 務の別)	契約年月日	契約の相手方	契約金額 (税込み・円)	予定価格 (税込み・円)	落札率	入札参加者数	政府調達案件 は ○を記載	備 考
10	港湾局	バルク貨物流動調査業務	役務	R6.7.9	(一財)みなと総合研究財団	25,520,000	25,608,000	99.66%	1		
56	大臣官房会計課	社会資本整備総合交付金システムサービス提供及び運用・保守業務(令和6～10年度)一式	役務	R6.8.20	(株)NTTデータ	704,012,201	704,012,201	100.00%	1	○	
64	物流・自動車局	自動車検査受付装置の運用保守	役務	R6.8.23	(株)NTTデータ・アイ	129,478,965	131,049,105	98.80%	1	○	
206	大臣官房会計課(柏研修センター)	国土交通大学校柏研修センター 厚生棟屋上補修工事	役務	R6.11.20	(株)関東コーワ	12,650,000	12,655,885	99.95%	1		
208	大臣官房会計課(海事局)	自動運航船の国際基準に係る要件策定のための調査及び検討	役務	R6.11.20	(一財)日本海事協会	36,578,300	36,901,757	99.12%	1		

4. 委員からの主な意見等

別紙のとおり

1. 随意契約

主な質問・意見	回答
【事案１】観光ＤＸ推進に向けたデジタルツールのデータ連携における標準仕様の策定及び活用に関する調査事業（観光庁参事官（産業競争力強化）） ・企画競争時に過去の類似事業の取組概要を配布しているということだが、令和５年度の類似事業と令和６年度の本事業の差異を説明していただきたい。	・令和５年度はＤＸ推進に向けたデータ連携仕様検討業務を実施し、宿泊業を中心とした仕様の検討会を開催して標準仕様の作成といった運用の必要性について議論を行いました。令和５年度は標準仕様の実施体制・運用体制の構築は検討していませんでしたが、令和６年度は標準仕様を策定した後、その仕様が現場で運用や活用できるかも含めて検討しております。
【事案２】ダム運用高度化（１．アンサンブル予測活用性向上のための予測技術の開発）（水管理・国土保全局河川計画課） ・現に履行中の契約者以外の者に履行させることが不利であるとし、随意契約にすることも不可能ではないと思うが、公募の手続きを行ったのはなぜか。	・少し間口を広げるという意味で、公募を行ったという観点での判断です。
【事案３】駅前広場等の交通結節点における自動運転技術の活用に向けた実証実験調査業務（都市局街路交通施設課） ・共同提案体（JV）として適切性は審査するのか。 ・例えば、２者でのJVで、それぞれが応札できるものを、示し合わせてJVとして応札されると一者応札になります。そのため、応札した合理性を発注者として確認する必要があるのではないか。	・JVの管理技術者等の資格を満たしているか、また、役割分担について要件を満たしているかどうか等の確認はしております。 ・それぞれの役割分担の中で、得意なエリア・業種といったものがそれぞれあり、各々単独で応札するには常に短し、たすきに長しの状態ともなります。それぞれで補完し合い、求められる質に達するという判断が、JVを認める合理性と考えております。 ・そのご意見は今までになかった観点でありますので、しっかりと今後の課題として検討していきます。

主な質問・意見	回答
【事案４】令和６年度 プレ調査を踏まえた「次期自動車起終点調査（OD 調査）」実施に向けた検討業務（道路局企画課） ・本案件は５年に１回の調査とのことですが、同種案件として過去にも発注実績がありますが、これは何を発注しているのか。	・本調査自体は今年度実施しますが、本番に向けての検討等を行っておりました。例えば、令和６年度はそのプレ調査としてサンプル的に規模を小さくして実施し、検討した調査の実施方針の妥当性や効率化の検証を行っております。
【事案５】不動産 ID のデータ作製及び提供等に関する検討業務（不動産・建設経済局不動産市場整備課） ・説明書の中で、令和５年度の実証事業等により明らかとなった課題を踏まえとあるが、この課題は具体的に何か。また、説明書の中で読めるのか。 ・なぜ価格競争で行わないのか。	・不動産登記の情報を使って、建物にＩＤをつけていくことを考えているが、登記データを機械的に建物に振っていくことが技術的に困難であることが課題であり、成果等のＵＲＬの掲載先を説明書に示しておりますので、そこで確認できる形になっております。 ・本案件をどういう形で普及させていくか、検討を行うため色々な知見を提案してもらうため、企画提案をいただく形としております。

２． 一般競争

主な質問・意見	回答
【事案６】パルク貨物流動調査業務（港湾局計画課企画室） ・毎年度行う調査か。 ・総合評価を実施していますが、除算か加算のどちらで行っているのでしょうか。	・本調査は、統計法に基づいて５年に１回実施しているものです。昨年までは準備のための業務や、実施後の分析業務を行っております。 ・価格は加算方式で行っております。

主な質問・意見	回答
【事案７】社会資本整備総合交付金システムサービス提供及び運用・保守業務（令和６～１０年度）一式(大臣官房社会資本整備総合交付金等総合調整室) ・ 予定価格の算定のプロセスを教えてください。 ・ 参考見積りを他事業者が出せないのであれば、恐らく応札も出来ない状況ではないか。そういう意味で、本当に競争性を促すとなると、(回答された) 期間を延ばす事などでは難しいのではないか。もう少し手がかかることを検討していくべきではないか。	・ 予定価格ですが、本来であれば複数者からの参考見積りを参考に算定することが望ましいのですが、他の業者から協力を得られず、実際に今回落札した業者のみしか参考見積りを徴取できず、こういう形になりました。 ・ こういう大きなシステムは、一度参入されると、スタートアップの参入も実績要件からして難しくなります。この辺りは、自治体等でも同じことに直面されており、また、他省庁でも問題になっているというところと聞いております。同じ問題に直面しているところが多々ありますので、意見共有等、全体的に検討していきます。
【事案８】自動車検査受付装置の運用保守（物流・自動車局自動車整備課） ・ 過年度の類似案件の名称がかなり違い、どう類似しているのか分からない。また、契約の相手方も違い、それぞれ一者応札だが、ということなのか。	・ 本事業とは別のシステムの事業ではありますが、本事業と同様に自動車技術総合機構（NALTEC）のシステムと連携する作業が必要となった案件を類似案件として挙げております。その類似案件については、本事業とは別の契約相手方で、全て一者応札となります。
【事案９】国土交通大学校柏研修センター 厚生棟屋上補修工事（国土交通大学校柏研修センター） ・ 何社から参考見積書を取得したのか。 ・ 今回、応札価格が予定価格に非常に近いが、どの	・ 本業務の設計は別に発注しており、その設計事業者から見積りを徴収しておりますので、今回は参考見積りは取得しておりませんが、一般的には参考見積りを、少なくとも２者は取得しております。 ・ 設計事業者と落札事業者は別の事業者であり、少

主な質問・意見	回答
ように考えられているか。	なくとも1回目の入札で落札されず2回目の入札を行っている状況ですので、予定価格を推測できる環境にはなかったと思われます。
【事案10】自動運航船の国際基準に係る要件策定のための調査及び検討（海事局安全政策課） ・この一般財団法人と御省は昔から関係性があるのか。 ・説明の中でマニアックな業務とのことだが、最低価格落札方式で調達されているのはなぜなのか。総合評価等のような、技術面の評価は必要がない業務と理解してもいいのか。	・所管は総務省か内閣府かと思いますが、船舶検査を実施するということでは共通点はあります。ただ、当該法人は法律に基づいて船舶検査を実施するより昔から船舶検査を行っている法人で成り立ちは随分古い法人です。さらに、現状、OB等の天下りもありませんので、関係はないものと考えております。 ・仕様書に技術面的な部分も細かく記載しておりますので、一般競争入札（最低価格落札方式）にしております。